

国際関連情報 IASB 情報

IASB の動向
(2015年2月～2015年4月)

ASBJ 研究員 原 寛

I. 公開草案等の公表

1. IASB が負債の分類方法を明確化する提案を公表 (2015年2月10日)

国際会計基準審議会 (IASB) は、企業が債務をどのように分類するのか (特に、更新が生じる場合に) を明確化する公開草案「負債の分類」(IAS 第1号の修正案) を一般のコメントを求めるために公表した。

本修正案は、負債を流動又は非流動に分類する要件を明確化することによって、財務諸表における表示を改善するように設計されている。本修正はこれを次のことによって行うとしている。

- (a) 負債の流動又は非流動の分類は、報告期間の末日現在の企業の権利を基礎とする旨を明確化する。
- (b) 負債の決済と企業からの資源の流出との関連付けを明確化する。

本提案は、一般のコメントを求めるために120日間公開される。修正案に対するコメント募集期限は2015年6月10日であった。

2. IASB が新収益基準の発効日延期を採決 (2015年4月28日)

IASB は新収益基準の発効日を1年延期し

2018年1月1日とする公開草案の公表を採決した。

新収益基準 (IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」) は、IASB 及び米国財務会計基準審議会 (FASB) より2014年5月に共同で公表され、その発効日は2017年1月1日とされた。IASB は、デュープロセスに従い、最終決定を行う前に発効日の1年延期の提案についてコメントを募集する。なお、IFRS 第15号の早期適用は、発効日が延期された場合でも認められる。

発効日を延期する理由は、収益認識に関する共同の移行リソースグループ (TRG) の会議を受け、IASB がIFRS 第15号の明確化を提案する公開草案の公表を別途予定していること、及びIASB とFASB の新収益基準の発効日を引き続き一致させるためである。

なお、FASB はすでに2015年4月上旬に基準の発効日を1年延期する提案を採決しており、その後4月29日に公開草案がすでに公表されている。

IASB は新収益基準の発効日延期に関する公開草案を2015年5月中に公表予定である。

Ⅱ. IFRS 財団関連のプレスリリース

1. Darrel Scott 氏が IASB メンバーに再任 (2015年2月17日)

IASB を監督する立場にある IFRS 財団の評議員会は、Darrel Scott 氏を IASB メンバーの 2 回目の任期として再任した。

Scott 氏の 2 回目の任期は 2015 年 7 月 1 日から始まる 3 年間である。IASB メンバーになる以前は、南アフリカの大手金融機関の 1 つである FirstRand Banking Group の最高財務責任者を務めていた。2010 年 10 月に Scott 氏は IASB で 1 回目の任期を開始し、現在は IASB の中小企業向け IFRS (IFRS for SMEs) に関する導入グループの議長を務めており、2 回目も同任務を継続する。

2. IFRS 財団が IFRS 諮問会議の新副議長を指名 (2015年2月23日)

IFRS 財団の評議員会は、Gavin Francis 氏と熊谷五郎氏を、IFRS 諮問会議の新副議長に指名した。

IFRS 諮問会議は、IASB と IFRS 財団の正式な諮問機関である。IFRS 諮問会議は、世界各国の 40 を超えるグループや会員組織の代表者から構成されており、作成者、財務アナリスト、学者、監査人、規制当局、職業会計士団体及び投資家を代表する。IFRS 諮問会議の議長は、ニュージーランド財務報告基準審議会の前議長である Joanna Perry 氏が務めている。

Gavin Francis 氏は、IFRS 諮問会議において、金融業界の国際的な団体である国際金融協会を代表する。Gavin 氏は、HSBC Holdings plc においてグループ最高会計副責任者を務めている。

熊谷五郎氏は、IFRS 諮問会議において、社団法人日本証券アナリスト協会を代表する。熊

谷氏は、みずほ証券株式会社において経営調査部上級研究員を務めている。

3. IASB 議長が新しいミッション・ステートメントを発表 (2015年4月16日)

IASB の Hans Hoogervorst 議長が、カナダのトロントでスピーチを行い、IFRS 財団及び IASB が新たに作成したミッション・ステートメントについて発表した。

新しいミッション・ステートメントは、IFRS 財団の定款の目的である「公益のために、明確に示された原則に基づいて、理解可能かつ執行可能な国際的に受け入れられる単一の高品質な財務報告基準を開発する」ことに沿って作成されており、グローバル経済において IFRS 財団及び IASB が果たすべき役割や貢献に関する理解を深めるために作成された。

Hans Hoogervorst 議長は以下のように述べた。

「我々の使命は、世界の金融市場に透明性、説明責任及び効率性をもたらす IFRS を開発することである。また我々の作業は、グローバル経済における信頼、成長、長期間にわたる金融安定化を促進することで、公益に資するものである。」

Ⅲ. IASB 会議、IFRS 解釈指針委員会

IASB の会議は、ロンドンの IASB 本部で以下のとおり開催された。

- 通常会議 (2015年2月18日～20日、一部 FASB との合同会議)
- 通常会議 (2015年3月17日～19日、一部 FASB との合同会議)
- 通常会議 (2015年4月27日～29日)

また、IFRS 解釈指針委員会の会議は、2015年3月24日にロンドンの IASB 本部で開催さ

れた（詳細については、本誌 71 頁の「IFRS 解釈指針委員会の活動状況」を参照いただきたい）。

IV. その他の IASB 関連会議

- 2015 年 2 月 23 日～24 日 IFRS 諮問会議 (IFRS-AC) (ロンドン) (詳細については、本誌 76 頁の「IFRS-AC (2015 年 2 月) 出席報告」を参照いただきたい。)
- 2015 年 2 月 27 日 IASB の代表者と資本市場諮問委員会 (CMAC) との会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 84 頁の「CMAC (2015 年 2 月) 出席報告」を参照いただきたい。)
- 2015 年 3 月 4 日 料金規制対象活動協議グループの会議 (ロンドン)
- 2015 年 3 月 5 日 IASB の代表者と世界作成者フォーラム (GPF) との会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 91 頁の「世界作成者フォーラム (GPF) (2015 年 3 月 5 日) 出席報告」を参照いただきたい。)
- 2015 年 3 月 26 日～27 日 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) 会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 44 頁の「2015 年 3 月開催 ASAF 会議報告」を参照いただきたい。)
- 2015 年 3 月 30 日 TRG 会議 (ロンドン及び米国ノーウォーク) (詳細については、本誌 98 頁の「収益認識に係る IASB・FASB 共同移行リソース・グループの活動内容」を参照いただきたい。)
- 2015 年 4 月 22 日 金融商品の減損に関する移行リソース・グループ (ITG) の会議 (ロンドン) (詳細については、本誌 101 頁の「金融商品の減損に関する移行リソース・グループの活動内容」を参照いただきたい。)